



2018年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年5月10日

上場会社名 K&Oエナジーグループ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1663 URL <http://www.k-and-o-energy.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 梶田 直
 問合せ先責任者(役職名) 総務部マネージャー (氏名) 新井 賢太郎 (TEL) 0475-27-1011
 四半期報告書提出予定日 2018年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年12月期第1四半期の連結業績(2018年1月1日~2018年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年12月期第1四半期	18,933	10.6	1,741	13.6	1,888	14.1	1,333	14.3
2017年12月期第1四半期	17,119	△6.5	1,532	△21.8	1,655	△19.3	1,166	△10.7

(注) 包括利益 2018年12月期第1四半期 1,120百万円(1.4%) 2017年12月期第1四半期 1,105百万円(93.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年12月期第1四半期	48.66	48.35
2017年12月期第1四半期	42.59	42.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年12月期第1四半期	91,904	75,641	78.1
2017年12月期	91,644	74,985	77.7

(参考) 自己資本 2018年12月期第1四半期 71,813百万円 2017年12月期 71,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年12月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2018年12月期	—	—	—	—	—
2018年12月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年12月期の連結業績予想(2018年1月1日~2018年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	31,900	2.6	2,000	△13.1	2,200	△12.5	1,500	△15.3	54.76
通期	63,700	6.9	2,700	△11.5	3,100	△10.8	2,000	△17.2	73.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年12月期1Q	30,336,061株	2017年12月期	30,336,061株
② 期末自己株式数	2018年12月期1Q	2,933,736株	2017年12月期	2,944,684株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2018年12月期1Q	27,400,090株	2017年12月期1Q	27,386,240株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の売上高については、主にガス事業の売上高が増加したことにより、10.6%増加の189億33百万円となりました。また、一部ガスの仕入費用減少やヨウ素販売量の増加および販売価格の上昇などにより、営業利益については13.6%増加の17億41百万円、経常利益については14.1%増加の18億88百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益については14.3%増加の13億33百万円となりました。

なお、増減の比較については、全て「前年同期」との比較であります。また、当社グループの業績は、ガス事業の比重が高いことから、その性質上、気温などの影響により著しい季節的変動があります。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<ガス事業>

輸入エネルギー価格の影響による一部販売価格の上昇や、発電用途でのガス販売量の増加などにより、売上高については10.8%増加の174億10百万円となりました。また、県産ガスの生産量増加に伴うガス購入量の減少などにより、営業利益については5.9%増加の20億22百万円となりました。

<ヨウ素事業>

ヨウ素販売量が増加したことや、国際市況が回復基調で推移したためにヨウ素販売価格が上昇したことなどにより、売上高については19.0%増加の9億27百万円、営業利益については50.0%増加の3億42百万円となりました。

<その他>

器具販売事業の売上高が減少したことなどにより、売上高については4.8%減少の5億95百万円、営業利益については51.8%減少の30百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は、次のとおりであります。

<資産の部>

流動資産は、有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ1.4%増加の356億68百万円となりました。また、固定資産は、設備投資による機械装置及び運搬具の増加などがありましたが、減価償却が進んだことなどもあり、前連結会計年度末に比べ0.4%減少の562億36百万円となりました。以上の結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ0.3%増加の919億4百万円となりました。

<負債の部>

流動負債は、設備投資に係る未払金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ4.7%減少の89億39百万円となりました。また、固定負債は、設備投資資金の調達による長期借入金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ0.6%増加の73億23百万円となりました。以上の結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ2.4%減少の162億63百万円となりました。

<純資産の部>

純資産合計は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比べ0.9%増加の756億41百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の見通しについては、2018年2月14日付の「平成29年12月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更ありません。詳細については、2018年2月14日付の「平成29年12月期 決算短信」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,171	19,946
受取手形及び売掛金	6,441	6,591
有価証券	6,141	7,541
たな卸資産	1,005	966
その他	1,406	628
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	35,160	35,668
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,027	12,893
機械装置及び運搬具（純額）	17,474	17,169
その他（純額）	9,709	9,945
有形固定資産合計	40,211	40,009
無形固定資産		
1,069	1,069	
投資その他の資産		
投資有価証券	13,241	13,185
その他	2,008	2,020
貸倒引当金	△47	△47
投資その他の資産合計	15,202	15,157
固定資産合計	56,483	56,236
資産合計	91,644	91,904
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,316	4,299
引当金	28	56
その他	5,034	4,584
流動負債合計	9,378	8,939
固定負債		
長期借入金	801	1,106
退職給付に係る負債	4,949	4,860
引当金	153	163
その他	1,376	1,193
固定負債合計	7,280	7,323
負債合計	16,659	16,263

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,000	8,000
資本剰余金	13,928	13,939
利益剰余金	49,668	50,539
自己株式	△1,131	△1,127
株主資本合計	70,465	71,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,247	986
退職給付に係る調整累計額	△550	△524
その他の包括利益累計額合計	697	461
新株予約権	206	195
非支配株主持分	3,616	3,631
純資産合計	74,985	75,641
負債純資産合計	91,644	91,904

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)
売上高	17,119	18,933
売上原価	13,404	15,020
売上総利益	3,714	3,913
販売費及び一般管理費	2,181	2,171
営業利益	1,532	1,741
営業外収益		
受取配当金	54	82
受取賃貸料	35	34
その他	49	43
営業外収益合計	139	160
営業外費用		
支払利息	7	4
賃貸費用	6	6
寄付金	3	3
その他	0	0
営業外費用合計	17	14
経常利益	1,655	1,888
特別利益		
受取損害賠償金	24	—
その他	0	—
特別利益合計	24	—
特別損失		
固定資産除却損	22	18
その他	1	—
特別損失合計	23	18
税金等調整前四半期純利益	1,657	1,869
法人税等	489	490
四半期純利益	1,167	1,379
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,166	1,333

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2017年1月1日 至2017年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)
四半期純利益	1,167	1,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△81	△284
退職給付に係る調整額	19	25
その他の包括利益合計	△62	△258
四半期包括利益	1,105	1,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,089	1,097
非支配株主に係る四半期包括利益	15	22

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当社の連結子会社でありましたオータキ産業(株)は、2018年1月1日付で当社の連結子会社である大多喜ガス(株)を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2017年1月1日 至 2017年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	15,714	779	16,493	625	17,119	—	17,119
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	—	0	4	5	△5	—
計	15,715	779	16,494	630	17,124	△5	17,119
セグメント利益	1,910	228	2,138	64	2,203	△670	1,532

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△670百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△739百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ガス事業	ヨウ素事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	17,410	927	18,337	595	18,933	—	18,933
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	47	48	0	48	△48	—
計	17,411	974	18,386	595	18,982	△48	18,933
セグメント利益	2,022	342	2,365	30	2,396	△654	1,741

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設事業及び器具販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△654百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△727百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2018年5月10日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得すること及びその具体的な取得方法について決議いたしました。

詳細につきましては、本日公表の「自己株式の取得及び自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の買付けに関するお知らせ」をご参照ください。